

財政事情に関する公表書

豊能町の令和6年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和7年2月1日

豊能町長 上 浦 登



我が国の景気は、このところ一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しています。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

本町では、人口の減少や少子高齢化、地価の下落等によって、主要な自主財源である地方税の減少傾向が続いており、依然として歳入の約67%を地方交付税などの依存財源が占めており、依存度が高い状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが、一斉に更新時期を迎えるなど、歳出面でも今後の財政負担が増加する傾向にあり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

このように厳しい財政状況においても持続可能な財政運営を目指すため、本町では、現有施設の機能を整理し、施設を集約・多目的利用（多機能化）を実施することにより、今後の財政負担の軽減と将来の施設維持の効率化を図るとともに、行政課題の解決や住民から求められる施設像の実現に繋げていくことが適切であるとし、令和5年6月に「豊能町公共施設再編に関する基本方針」を定めました。今後、基本方針の内容に従って、施設の改修費、修繕費や維持管理費の削減を行い、健全な財政運営を目指してまいります。

令和6年12月末現在における令和6年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み9億7,289万5千円、当初予算から1億2,686万5千円の増、前年度同期と比較して2億6,779万円、15.8%の減となっています。

令和6年度一般会計の4月から12月の収入済額は、6億3,114万4千円、前年度同期と比較して、10.8%の増であり、支出済額は、5億1,389万1千円、前年度同期と比較して、20.2%の増という状況にあります。また、支出の執行率は52.7%で、前年度同期より0.7%上回っています。

令和6年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計における4月から12月までの予算執行状況は別添のとおりです。